

平成20年6月
袋井市議会定例会
一般質問通告内容

袋井市議会

一般質問通告議員

6月9日（月）

質問順序		ページ
1番	寺井雄二 議員 ……	1
2番	浅田二郎 議員 ……	2
3番	高橋美博 議員 ……	4
4番	芝田禮二 議員 ……	5
5番	田中克周 議員 ……	6
6番	広岡宥樹 議員 ……	8
7番	久野松義 議員 ……	10

6月10日（火）

質問順序			ページ
8番	高木清隆	議員	11
9番	戸塚和	議員	12
10番	廣岡英一	議員	13
11番	佐藤省二	議員	14
12番	寺井紗知子	議員	15
13番	大場正昭	議員	16

質問順序	1	議席番号	16	質問者	寺井雄二
主 題	要 旨				答弁者
1 病院問題	(1) 救急患者受け入れ体制について ア 市民病院への救急隊から患者受け入れ要請に対応できず、拒否事象はふえているのか。 (2) 新病院の方向性について ア 袋井市民病院・掛川市立総合病院との統合は、一部事務組合方式とされるのか。				市長
2 道路問題	(1) 市道湊川井線の格上げについて ア 市道湊川井線（通称：農免道路）の県道への格上げ要請はできないか。				市長
3 記念事業	(1) 合併節目の記念事業について ア 新袋井市が誕生して来年は5年目の節目を迎えるが、合併記念イベントは検討されているのか。				市長
4 防災対策	(1) 避難所における対応策について ア 避難所トイレ対策用に下水処理マンホールを設け、連結投入できる策を各避難所に設けることはできないか。 （下水道施設の整備されている地区の避難所）				市長
5 職員問題	(1) 人事管理について ア 権限委譲に伴う職員の仕事負担はどうか。 イ 現在の職員数は、事務量によって適正に配置されているのか。 ウ 職員の自己申告書は、希望配置に生かされているのか。 エ 休日出勤における代休処理は、確実に処理されているのか。				市長

質問順序	2	議席番号	9	質問者	浅田二郎
主 題	要 旨				答弁者
1 国民健康保険	(1) 国保税の「仮算定」について ア 後期高齢者医療制度の保険料と国保税の二重取りについて (ア) 二重取りの事実について (イ) その対象者について (ウ) 修正への対応について イ 「仮算定」方式の見直しについて ウ 市の形式的・機械的対応について (ア) 後期高齢者医療制度への移行者分を考慮することについて (イ) 第2期分の徴収について				市長
2 病院問題	(1) 新病院に対する市の方針について ア 基本理念について (ア) 「あり方検討委員会」の基本理念の位置づけについて (イ) 予防医療について (ウ) 入院治療について (エ) 救急医療について イ 建設場所について (ア) 両市民の病院ということについて (イ) 現掛川市立総合病院地域での建設について (ウ) 市としての最低条件について ウ 医師確保について (ア) 医師確保の保証について (イ) 新病院建設目的の大きな一つとしての医師確保について (ウ) 「医師をふやす」のではなく「患者を減らす」という方向について				市長
3 水道事業	(1) 料金の改定について ア 「懇話会」の進捗状況と今後の予定 (2) 上水道計画について ア 供給が極端に多いことについて (ア) 9,000トン多い事実について (イ) 「受給バランス」について (ウ) 2割も供給が多くなっている必要性について (エ) 計画の見直しについて				市長

質問順序	2	議席番号	9	質問者	浅田二郎
主 題	要 旨				答弁者
3 水道事業	イ 県水の受水料金について (ア) いわゆる「空料金」の状況について (イ) 県水の契約水量の過剰が水道料金に与える影響について				市 長

質問順序	3	議席番号	10	質問者	高橋美博
主 題	要 旨				答弁者
1 市民協働	(1) 自治会法人化について ア 自治会法人化について市の方針はどうか。 イ 法人化のメリット・デメリットはどうか。 ウ 市内自治会の法人化の状況はどうか。 エ 法人化推進の対策はどうか。				市長
2 農業振興	(1) 市民農園について ア 需要をどう考えているか。 イ 市管理の市民農園、いきいき農園の利用状況はどうか。 ウ 市として拡大の考えはあるか。 エ 市内の実数は把握しているか。 オ J Aなどと連携し、登録斡旋制度を実施してはどうか。				市長
3 公園問題	(1) 月見の里公園の利用拡大について ア 利用状況はどうか。 イ 施設管理に問題はないか。 ウ 学遊館との一体的利用は図られてきたか。 エ 今後どのように利用拡大を図るのか。				市長
4 教育問題	(1) 新学習指導要領について ア 教育内容増、授業時間増は、子供・教員の負担増とならないか。 イ 音楽での和楽器学習拡充、保健体育での武道必修化への対応はどうか。 ウ 小学校高学年での「外国語活動」導入への対応はどうか。 エ 「道徳教育」強調は問題がないか。 (2) 体力テストについて ア 今年度から実施の「全国体力テスト」への対応はどうか。				教育長

質問順序	4	議席番号	7	質問者	芝田 礼二
主 題	要 旨				答弁者
1 地域施策	(1) 笠原地区の活性化と対策 ア H17年4月の農振地域の策定時に地域の声が届かなかった経緯は何か。 イ 笠原地域の活性化のため、農振地域の網を外す申請を国・県に対し行い、特区の認可が取れないか。 ウ 「田園調和型住宅地」、「田園調和型工業・業務地」の誘導についての具体的な可能性・実効性は。また、小笠山山麓開発事業との整合について エ 小規模農家でも食べていける魅力ある農業・魅力がもてる農業のビジョンについて				市長
2 給食	(1) 学校給食 ア 1市3方式の問題で検討してきた経過と結果 イ 給食センターの新地増設について ウ 物価高騰の影響と現状は。 エ 給食費への影響はどうか。 オ 安心な食材確保に地域の協力について				教育長
3 浅羽支所	(1) 利便性と有効活用 ア 浅羽支所の有効活用について、庁舎あり方検討会での検討結果とその内容は。 イ 支所をJAと共有化し、住民サービスの向上が図れないか。				市長

質問順序	5	議席番号	6	質問者	田中克周
主 題	要 旨				答弁者
1 裁判員制度	<p>(1) 裁判員制度の導入について</p> <p>ア 市が取り組むべき役割と責務をどのように認識しておりますか。</p> <p>イ 市として積極的な広報活動を行い、市民への周知徹底を図るべきと考えますが、その計画はありますか。</p> <p>ウ 裁判員に決定した場合、精神的なダメージや生活上の支障を心配される方が多いと言われていますが、それに対するケアをどのように考えていますか。</p> <p>エ 管轄区域で対象とされる裁判は、1年間で何件くらいで、また、袋井市民の裁判員候補者は何人くらいで、実際に決定される人数は何名程度と想定されますか。</p>				市 長
2 国民文化祭	<p>(1) スポーツ文化フェスティバルについて</p> <p>ア 取り組みに対する市長の意気込みを、現在の開催準備状況を踏まえてお聞かせください。</p> <p>イ 「ものづくりフェスタ in 袋井」と連携を図りながら国民文化祭もPRすべきと考えますが、どうでしょうか。</p> <p>ウ 一層の推進体制の構築を図るため、職員一体となって、市長を本部長とする「国民文化祭推進本部」の設置を望みますがいかがか。</p>				市 長
3 財政問題	<p>(1) 公会計制度改革について</p> <p>ア 財務諸表の作成方法として、総務省方式改訂モデルと基準モデルの2つが「新公会計制度研究会」から示されました。</p> <p>(ア) 袋井市が決定する場合の判断基準と理由は。</p> <p>(イ) この公会計制度の整備には、財政課以外にも、財産管理を行う部署や会計管理を行う部署など、連携が必要となります。プロジェクト等を設けて取り組む必要があると考えますが、どうでしょうか。</p>				市 長

質問順序	5	議席番号	6	質問者	田中克周
主 題	要 旨				答弁者
3 財政問題	(ウ) 財務諸表作成後の活用が重要です。各部署でも、財務諸表を理解し、業務に活用できるよう、研修会等の開催が必要ではないでしょうか。				市長

質問順序	6	議席番号	1 1	質問者	広岡 宥樹
主 題	要 旨				答弁者
1 後期高齢者医療制度	<p>(1) 制度中止の声を。</p> <p>ア 今でもこの制度を「将来にわたって安定的で継続可能な」制度、「安定した医療制度を維持することができるもの」と考えているか。</p> <p>イ 新制度について、対象者及び影響の及ぶ人々に十分説明したと考えるか。</p> <p>ウ 徴収方式、徴収額について事前に個々の対象者に通知せず、仮算定、本算定ではじめて知らされることになったが、高齢者無視のやり方ではないか。</p> <p>エ 普通徴収の対象者には今後本算定一本の通知となるが、改める意志はないか。</p> <p>オ 外来の包括払い制（定額制）を今でも「今後の医療制度の主流を占めていくもの」として評価しているか。</p> <p>カ 「診療料」の届け出は適切な制度と考えるか。また、袋井市内で届け出をする医療機関は十分確保できているか。</p> <p>キ 短期保険証、資格証明の発行はどんなにひどくてもやむを得ないこと、必要なことと考えるか。</p> <p>ク 高齢者を年齢で切り離れた制度を実施していることに対する良心の痛みはないか。</p>				市長
2 学力・学習状況調査	<p>(1) 調査中止の声を。</p> <p>ア 市内の実受験者数は。</p> <p>イ 昨年のテストの結果が受験者に渡された時期、形式はどうか。</p> <p>ウ 結果を受けて、市教育委員会、各学校はどのように対処したか。</p> <p>エ 個々の児童、生徒にとって学習意欲、学力向上に資するものとなったと考えるか。</p> <p>オ 調査目的(1)、(2)に照らして、抽出調査で十分ではないか。</p> <p>カ 調査目的(3)、各学校が「各児童、生徒」の状況を把握・分析することで、指導の改善に役立てるということだが、不可能ではないか。</p> <p>キ いずれ競争化不可避の本「調査」は教育を細らせ、豊かさを削ぐものであり、費やす多額の国費の有効利用を求めるべきだと考えるがどうか。</p>				教育長

質問順序	6	議席番号	1 1	質問者	広岡 宥樹
主 題	要 旨				答弁者
3 市職員の労働意欲	(1) 創意工夫の空気醸成を。 ア ワンステップアップ運動は自主的活動として機能しているか。 イ たび重なる事務ミス根底に人事異動、職員削減が絡んでいないか。				市長

質問順序	7	議席番号	17	質問者	久野松義
主 題	要 旨				答弁者
1 市民病院の今後について	(1) 存続要望 ア 患者さんやスタッフの方々がこれからどのようになるの。我らの市民病院を存続させてください。廃止しないでください。大勢の市民の声です。お答えください。 (2) 休床病棟の活用 ア 貴重な財産を遊ばせてもったいない。病院の後方受け入れ施設として市民が安心できるもの。「介護療養型老人保健施設」に転換しませんか。 (3) 研修病院 ア マッチングの感触はいかがでしたか。静岡県のマッチング率は何%でしょうか。来年度の研修医の受け入れ状況はいかがでしょう。				市長
2 高齢者対策について	(1) シルバー人材センター ア 任せきりでなく、会員の増員と業務の拡張に、行政は指導・支援の手をさしのべていただきたい。 イ 今の活動に貴重な人材、戦力を集め、活力みなぎる袋井市にしたいですね。 ウ 高齢者の就労意欲、社会参加意欲を促し、貴重なマンパワーの活用を考えてください。				市長
3 入札・指名・議会運営委員会対応	(1) 高い落札率 ア この高い落札率をどのようお感じですか。 (2) 入札方法の改善 ア 今後入札方法の改善をお考えでしょうか。何か対応はお考えでしょうか。 (3) 入札事例から ア 入札予定価格が予算額を超えないことがよいではないでしょうか。 イ 入札書比較価格と入札金額がピットンコです。奇跡ですか。 ウ 二回目の入札金額がきれいに並んでいます。この奥にあるものは何でしょうか。 エ 市議会運営委員会までに議案は必ず調製しましょう。				市長

質問順序	8	議席番号	8	質問者	高木清隆
主 題	要 旨				答弁者
1 まちづくり	<p>(1) まちづくり三法の改正を受けて</p> <p>ア まちづくり三法の見直しと、にぎわい新都心まちづくり計画について</p> <p>(ア) 三法の見直しのキーワードをどうとらえているのか。</p> <p>(イ) 都市構造の集約化のメリット、拡散化のデメリットをどう考えているのか。</p> <p>(ウ) まちづくり三法の見直しの背景にある、国の施策とにぎわい新都心まちづくり計画との整合性についてどう考えているのか。</p> <p>(エ) 内閣府との事前相談における指摘事項に対して、今後どのような取り組みを考えているのか。</p> <p>(オ) 商工会議所との調整をどう取り組んでいくのか。</p> <p>(カ) 3つのプロジェクト推進のためには、トップセールスが必要と考えるが。</p> <p>(2) 土地利用</p> <p>ア 農地の位置づけについて</p> <p>(ア) 転用許可基準の明確化と土地利用計画制度の再構築への取り組みについて</p>				市長

質問順序	9	議席番号	14	質問者	戸塚和
主 題	要 旨			答弁者	
1 教育問題	(1) 生きた食農教育 ア 農家に宿泊して現代の農業、農村の習慣を学ぶ。 イ 作物づくりの体験学習 ウ 収穫を体験して加工の実習 エ 担い手づくり			教育長	
2 外国人の徴税対策	(1) 在留更新申請厳格化 ア 現在市内には外国人が何人定住しているか。 イ 国籍はどうか。 ウ 産業別分類 エ 健康保険の加入状況 オ 市県民税の滞納者数、滞納額、滞納額の全体に占める割合はどうか。 カ 滞納対策はどのように進めているか。			市長	

質問順序	10	議席番号	4	質問者	廣岡英一
主 題	要 旨				答弁者
1 環境	<p>(1) 一般廃棄物の処理対策</p> <p>ア 木・竹・わら類の処理量</p> <p>(ア) 平成17年以降の処理量（全体と搬入別）</p> <p>(イ) 市内で発生する年間の量</p> <p>イ 河川愛護など、草刈り後の処理</p> <p>(ア) 各自治会の処理方法と行政の指導</p> <p>(イ) 搬入場所、コンテナ設置への見解</p> <p>ウ 厨芥類・野菜類の処理量</p> <p>(ア) 平成17年以降の処理量（全体と搬入別）</p> <p>(イ) 減量化してきている要因</p> <p>(ウ) 平成17年以降の生ごみ処理機器の設置台数及び設置で減った生ごみの量</p> <p>エ 剪定枝、生ごみの資源化</p> <p>(ア) 民間活力導入への基本方針</p> <p>(イ) リサイクルシステム構築への市の役割</p> <p>(ウ) 広域行政でプラントを整備することへの見解</p> <p>オ 紙類、廃食油のさらなるリサイクル</p> <p>(ア) レシートやハガキなど、小さな紙の回収</p> <p>(イ) 廃食油回収ボックスの設置</p> <p>(ウ) 公用車等へのBDF使用</p> <p>(2) バイオマスタウン構想</p> <p>ア 「バイオマスタウン構想」着手への経緯</p> <p>(ア) 着手の決め手となった要因と経緯</p> <p>(イ) 静岡理工科大学の研究成果</p> <p>(ウ) 湖西市のバイオマス例</p> <p>イ 構想の策定と所管</p> <p>(ア) 政策研究費1,300万円のうち、構想策定費は。</p> <p>(イ) 構想策定に関連する課と業務及び全体を調整する所管</p> <p>(ウ) 庁内横断プロジェクトを組織すべきでは。</p> <p>ウ 家畜排泄物利用の課題とモミ殻の活用</p> <p>(ア) 臭気拡散、建設場所への懸念</p> <p>(イ) 畜産肥料の窒素分過多や抗生物質対策</p> <p>(ウ) もみ殻から微量鉍物を抽出する研究開発</p>				市長

質問順序	1 1	議席番号	2 4	質問者	佐藤省二
主 題	要 旨				答弁者
1 環境政策	(1) 水環境対策 ア 合併浄化槽の11条法定検査について (ア) 袋井市の実施状況 (イ) 静岡県全体の取り組み状況 (ウ) 袋井市の実施率を上げる計画について (エ) 検査料金について市が半分負担してはどうか。 (オ) 10条検査とセットで契約して代行業務でできないか。				市 長
2 デジタル放送化 対応	(1) 公共施設による電波障害 ア 公共施設による電波障害の対応で共同アンテナ受信組合の対応について (ア) デジタル放送化の基本的な対応について (イ) 配線施設等の撤去費用は幾らかかりますか。 イ 月見の里学遊館の電波障害 (ア) 経費の負担は施設管理者の負担と考えてよいか。 (イ) デジタル放送化後も障害があり得ると考えるか。				市 長
3 長寿医療制度	(1) 人間ドック ア 長寿医療制度の導入による人間ドック助成廃止について (ア) 昨年までの対象者数と受診者数 (イ) ことしの対象者数 (ウ) 袋井市独自の助成措置が必要ではないか。				市 長

質問順序	1 2	議席番号	2 1	質問者	寺井紗知子
主 題	要 旨				答弁者
1 少子高齢社会の行政課題	(1) 次世代育成支援について ア 「仕事と子育ての両立」支援は進んでいるか。 イ 放課後児童クラブ (ア) 現状と課題 (イ) 今後のあり方 (ウ) 指導員の労働環境の整備				市 長
	ウ 子供の遊びの実態把握は。				教 育 長
	エ 次世代育成支援計画の検証と見直し (2) 安心して暮らせるまちとは。 ア まちの店舗の減少がもたらす日常生活への支障について イ 暮らしを支えていくための手法について				市 長

質問順序	13	議席番号	19	質問者	大場正昭
主 題	要 旨				答弁者
1 防災・減災	<p>(1) 教育施設、住宅等の地震対策について</p> <p>ア 中国四川大地震から学ぶことは何か。 我が市の防災行政に生かしていくことは具体的に何か。現地への市職員の派遣を考えてはどうか。</p> <p>イ 市内幼稚園、保育所、小学校、中学校施設の耐震化の進捗状況はどうか。構造耐震指標 I S 値 1.0を満たしているか。校舎や体育館なども万全か。</p> <p>ウ 避難所となる公民館等の文教施設の耐震化はどうか。各公会堂はどうか。補助・助成制度も考えてはどうか。</p> <p>エ 住宅におけるわが家の専門家診断・家庭内家具等の転倒防止事業、既存建築物の耐震性向上事業及び木造住宅耐震補強事業の推進状況はどうか。</p> <p>オ これら上記エのことが、思うように進まない実情をどう捉えているか。何が問題なのか。モデル地区やモデル自治会をつくって押し進めていく考えは。</p> <p>カ 被害が多く予想される地域への職員の全戸訪問を行う考えはどうか。</p>				市長
2 市街地整備の促進	<p>(1) 市内の土地区画整理組合の状況について</p> <p>ア 上石野、上山梨第二、春岡の各組合の保留地販売の状況はどうか。また、各組合の今年度の取り組み状況とそれぞれの特色は。課題・問題は。</p> <p>イ 上石野地区への商業・業務系施設の誘致状況はどうか。</p> <p>ウ 春岡地区への幼稚園設置事業の取り組みと今後の予定はどうか。</p> <p>エ 先日、組合が解散となった久能向地区の今日までの取り組みと、よかった点、すばらしかったところは何か。</p> <p>オ 新たに進める上山梨第三地区、現在施行中の田原地区の進捗状況は。また、今後の課題は何か。</p>				市長

質問順序	13	議席番号	19	質問者	大場正昭
主 題	要 旨				答弁者
3 教育情報化	<p>(1) 学校教育の情報化について</p> <p>ア 我が市の学校間イントラネット（域内ネットワーク）や超高速インターネット回線の整備状況はどうか。校内LANは100%整備と聞くが、今後に向けた課題は何か。</p> <p>イ 国の平成22年度を目標とした「IT（情報技術）新改革戦略」の我が市の達成率はどうか。今後の取り組みは。</p>				教育長
4 市民の声から	<p>(1) 物価の高騰について</p> <p>ア 食品の値上がりにより、学校給食費についてはどうか。保護者負担増、子育て支援の観点から、据え置き、現状維持をお願いするがどうか。</p>				教育長
	<p>イ さらに燃料の高騰により、温室メロン農家などを直撃している。この冬の生産も危ぶまれていると聞くが、地元農協、生産団体などの組織との協議も必要と思うがどうか。早急に行う考えはあるか。</p>				市長
	<p>(2) 幼児教育について</p> <p>ア 次代を担う子供たちのために、満年齢が3歳に達したときから、順次幼稚園に通ったり、遊ぶことができるような取り組みを始めてもらいたい。教室、先生方が必要となるが、子供・保護者の方に喜ばれると思うがどうか。</p>				教育長